



# 上尾ロータリークラブ



2020-2021年度R.I.テーマ  
ロータリーは機会の扉を開く



2020-2021年度 宇多村海児会長

第2875回 例会  
2021. 5. 13

会長あいさつ

週報 No.2168  
発行 2021年 5月 27日

2020-2021年度  
会長 宇多村海児  
幹事 深澤 圭司  
副会長 齋藤 修弘  
副幹事 長沼 大策  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 坂 佳三

ビジター  
国際ロータリー第2770地区  
パストガバナー兼 副ガバナー  
小林 操様 (越谷北 RC)  
地区副幹事  
西山育昌様 (川口モーニング RC)  
第5G ガバナー補佐  
宮澤英修様 (鴻巣 RC)  
第5G ガバナー補佐幹事  
津田ひろみ様 (鴻巣 RC)

行事予定  
6月 3日 クラブ協議会③  
『新旧委員長会議』  
6月10日 卓話『仏像は語る』  
埼玉県美術家協会会員  
利根川健介様  
6月17日 クラブ例会⑥  
『一年を顧みて』  
6月24日 最終例会  
(例会時間変更)

皆さん、こんにちは。お待たせしておりましたガバナー公式訪問の日です。会長あいさつの前に5月12日、第5G新旧会長幹事会が開催され、第5G懇話会での次の五代目会長に大塚信郎パストガバナーが就任されることになりましたことをご報告させていただきます。

本日は多くのお客様、会員の皆さんがいらっしゃいますのでちゃんと話をしなければと考えていましたがいまいち浮かばず、昨日見たニュースからヒントを得て、お話しさせていただきます。残り少ない会長あいさつでは、人間の生や愛についてお話ししたいと先日お話ししました。今日は人間の命について、私なりの考えをお話ししたいと思います。

この中にはお医者様もいらっしゃいますので医療的なことで、もし違うようでしたらご指摘いただきたいと思います。コロナ禍一色の1年でしたが、昨年いくつか時代の変わり目になると思われるような出来事がありました。その中の一つに安楽死の問題があります。昨年7月、50代の女性の安楽死をほう助したということで2人の医師が逮捕されました。過去にも同様の事件が7~8件ありましたが、いずれも起訴されず不起訴になっていて、この問題の本質が難しいことを表しています。過去の例と決定的に違ったのは、2人の医師が、安楽死を委託した女性から報酬を受け取っていたことです。ついにこのようなことが起こってしまったのかと思いますが、医師2人のうちの1人は優生思想の持ち主だったと後ほど記事に書かれていました。私たち上尾RCは老・壮・青の融合を主張・強調しています。人間誰しも老いの問題、病気、障がいから逃れられません。なので誰かの助けを受けないと生きていられない状況・年齢になっていくわけです。それが、先々どうなるかわからない、このまま生きていても・・・ということでも自ら命を絶つという選択をされる人がいます。それは非について何年も前から次の世代へと先送りされてきました。難しい問題で哲学、倫理、法律がからみます。2年前、NHKのドキュメンタリー番組で、日本ではできない安楽死をスイスに行って実行する女性の姿を追いかけていました。その女性は回復不能の難病を患い、このままだと周囲に負担をかけてしまい、ましてや思考もまともにできず話しもできなくなり「ここで終わらせてくれ」という意思表示もできな



ROTARY CLUB OF AGEO

なくなったときに家族はどうするかを考え、安楽死を選ぶのは今のうちだということでスイスまで行って安楽死を選択するストーリーでした。優生思想という、とかく社会は健康者のものであるという考え方があります。約40年前、聖なる義務論争がありました。難病には公費の負担があります。その患者を維持したり看病するために、患者や家族に公費の負担が相当かかる。具体的に言うと血友病の子供がいる作家の家庭で、血友病は遺伝性が高い病気とされていて、それがわかっていながら作家は二人目の子供を作り、二人目やはり血友病になってしまったことを、上智大学の教授だった渡部昇一が、一人目の子は授かったものだが、遺伝性が高いとわかった時点で二人目はあきらめる、それは人間に課せられた聖なる義務であると手記で発表したところ、ちよつとした騒動になった結果、論争にまでは及ばず、血友病の患者の団体からも批判はなかったそうです。そのことから私たちは社会と健康者、障がいを持つもの=弱者に対する見方を、先送りせず、やっぴいかなくはないといけない時期なのではないかなと個人的に考えています。誰もできないことができる、ロータリアンならできることもあるのではないかなと思います。ロータリアンの仕事ではないという方もいらっしゃるかもしれませんが、今年度、中里ガバナーが奉仕のあり方を変えていこう、新しい機会にチャレンジしていこうと仰っていました。私は、果たして奉仕というのは五部門だけではないか、もっと精神的なものに対して、オピニオンリーダーとは言いませんが、情報や考えを発信していく、具体的に何ができるかというのはこれからの話ですが、世に先駆けて行っていく、それはロータリークラブであっていいかなと私は思っています。会長あいさつは以上です。ありがとうございました。

## 幹事報告

深澤 圭司幹事

◇5月27日の例会場は東武パンケットホール・ポリアスに変更になります。  
◇IMが5月21日(金)に開催されます。お越しの際は名刺をお持ちください。名刺が大抽選会での抽選番号になります。また以前お配りした「鍾馗様マスク」を着用ください。



## ビジターあいさつ

第5Gガバナー補佐 宮澤英修様 (鴻巣RC)

5月21日にIMを開催します。当日は1000人のキャバで余裕をもって座ることが可能です。会場は機械換気がしっかりしています。そして幹事報告にあったように、名刺が大抽選会での抽選番号になります。空くじなしです。全員当たります。ぜひお越しのほどお願い申し上げます。



## 例会主題

### ガバナー公式訪問

パストガバナー 兼 副ガバナー 小林 操 様

皆さん、こんにちは。また来てしまいました。今日、私が来た理由からお話しします。現・中里ガバナーが病氣療養により国際ロータリーの細則の中に「空席」という欄があり、ガバナーが病氣療養等によって責務を果たせない時に副ガバナーが果たす、となっています。それに伴ってうちの地区から国際ロータリーに副ガバナー・小林操が代行します、と届けを提出しました。そしてガバナーの責務である公式訪問を私が行っています。



さて時期的に5月ということで、年度も後半、そして気持ちは次年度になっていると思います。そこで今日は私の公式訪問では次年度につながるというお話しをしたいと思ひます。普通にやればクラブ協議会で各委員長さんが報告をしていただくという形ですが、どちらかという反省会、というか年度の検証をしていただいて、次年度どうするか・・・7月になった時、もうコロナだから云々とは言い訳になりません。それを私は伝えに来ました。今年度、コロナでやることも出来ず、皆さんの心の中にはフラストレーションがあったかもしれません。今後はそれをいかに生かすか、次年度に掛かっていると思ひます。だから次年度の人には「コロナだからできない」とは言えない、それを今日はぜひ強調したいと思ひます。さて、あらためて昨年は本当にありがとうございました。



ました。昨年のテーマはポリオ根絶ということで地区をまとめさせていただきました。お蔭さまで私がやり残したことはないのかなと、いうくらいやりました。私の年度が昨年6月末で終わった後に、他地区から卓話の依頼が多数あり、2700地区をやったことをお話ししました。数多く、多くの賛同をいただき当地区で行ったことを参考にして活動したいと仰っていただきました。ということは、私がやったことは間違いではなかったかなと思ひます。本当に昨年度はありがとうございました。

さてこれからの時間ですが、主要な委員長を指名して、今年度の反省をお話ししていただき、私がコメントする、という手順で進行したいと思ひます。

### 米山記念奨学・学友委員会 樋口 雅之 委員長

昨年4月から修針叶さんをお世話しました。修さんは無事に修士課程を卒業し、今年4月から同じ埼玉大学の博士課程へ進みました。クラブの例会、献血などの事業にもかなり出席いただきました。委員長をして良かったことで、娘が第二外国語で中国語を専攻していたので、修さんに中国語を教えてもらったこと、米山の日帰り旅行では普段見られない奨学生たちの姿を見たことです。

小林副ガバナー 奨学生たちは母国を離れ、心細い毎日を送っているはずですが、ロータリーの奨学制度ではロータリアンとのコミュニケーションを大事にするので、コロナ禍、彼女たちは心強かったのではないかなと思ひます。一年間お疲れ様でした。

### ロータリー情報委員会 藤村 作 委員長

情報委員会としての活動はここ数年できていません。そのような中、私は2回卓話を頼まれて、去年と先月、コロナと財団について話しました。また先月はローターアクトの話もしました。

小林副ガバナー 5月11日付けでホルガー・クナー R I 会長から、今インドがコロナで大変な状況になっているのでなんとかできないか、というメッセージが来ました。ロータリーとしてできること、他クラブ(他国)の事例も書かれていました。帰ってから策を練って藤村先生に伝えたいと思ひます。ローターアクトですが、私たちから手を差し伸べて一緒にやろうよと言わないとなかなか難しいかもしれません。海外だといろいろなことを提案してやっています。若い人と一緒に活動するとクラブも活気づきます。世界が一緒にやろうという雰囲気になっていますのでぜひやっていただきたいと思ひます。

### 会員増強維持委員会 島村 健 委員長

今年度は2名増強しましたが、退会しそうな会員がいます。次年度はぜひ増強と退会防止に努めたいと思ひます。

小林副ガバナー 昨年のIMではお世話になりました。吉岡先生の講演は強く印象に残っています。さて管理運営部門的に、上尾さんはリアルで例会を開催してすごく楽に思ひますが、世の中はオンラインでやるようになっていっています。地区でもほとんどオンラインで、私も四苦八苦しています。でも1年もオンラインでやっている、慣れてきます。使い方も工夫してきます。リアルで続けるのは素晴らしいですが、ぜひオンラインをやってみた方がいいと思ひます。

### プログラム委員会 小田切 宏治 委員長

コロナ禍のため会員卓話を中心にプログラムを組みました。4月には私がZOOMについての卓話をしました。次年度はオンライン(ハイブリッド)に取り組んでいくべきかなと思ひます。

小林副ガバナー ぜひ皆さん、意識していただきたいのは、ロータリーは何を目標に考えたらいいかです。なかなか漠然として難しいですが、年度計画書の中にもあるのですが、各年度のテーマ、17-18年度「ロータリー:変化をもたらす」、18-19年度「インスピレーションになろう」、19-20年度「ロータリーは世界をつなぐ」、20-21年度「ロータリーは機会の扉を開く」は、順に一本の筋が通っています。毎年のR I テーマを考えるだけでロータリーの方向性がわかりますので、ぜひ頭の隅においていただければと思ひます。ぜひ次年度、成長していただきたいと思ひます。

### スマイル

宇多村会長/深澤幹事/齋藤修副会長/  
長沼副幹事/武重会員/岡野会員/大塚信郎会員/  
小林会員/村岡会員/尾花会員/大木保司会員/  
細野会員/大塚崇行会員/島村会員/  
齋藤博重会員/久保田会員/関口和夫会員/  
藤村会員/齋藤哲雄会員/須田会員/樋口会員/  
坂本会員/小田切会員/丹井会員/奥川会員/  
関口良康会員/山崎会員

小林副ガバナー  
お越しいただき、  
ありがとうございました!

出席率	
会員数	38
出席数	30
欠席数	8
78.95%	

## 【新型コロナウイルス感染症対策に係る寄贈品及び感謝状贈呈式】を行いました。

2021. 5. 14 於: 上尾市役所7階、教育委員会  
「廉価版の検温器は故障しやすい」との小中学校からの声を受けて、医療現場で使われている日本製・非接触型サーモーターを上尾市教育委員会 学校教育部 学校保健課に寄贈しました。当クラブの社会奉仕事業として、地区補助金を使いながら、市内小学校22校、中学校11校ぶんの計33台を購入し、寄贈しています。式には宇多村会長、深澤幹事、長沼副幹事、齋藤哲雄 SAA が出席しました。池野和己教育長からは「小中学校の子どもたちや教職員の感染防止のため、学校で活用されることは間違いない。上尾ロータリークラブさんからの寄贈はたいへんありがたく、大きな励みにもなった。」と感謝状を贈呈していただきました。このサーモーターが感染拡大の抑止効果の一助となり、新型コロナウイルスが一刻も早く収束することを願います。

## 第5グループ インターシティミーティングが開催されました! (第2876回例会)

2021. 5. 21 於: クレアこうす  
コロナ禍、2回延期したこの第5グループのインターシティミーティングがクリアこうすで開催されました。当クラブの会員、新井屋呉服店さん(大木保司会員)制作の鍾馗様マスクを着用して、疫病退散の思いを胸に参加しました。◇当クラブ、島村健直前ガバナー補佐に記念品が贈呈されました。◇第5G各クラブのビジョン発表で宇多村会長が登壇し、戦略計画を説明しました。宇多村会長は鍾馗様 T シャツも着用しました。主催された宮澤英修第5Gガバナー補佐様、ホストクラブの鴻巣RCの皆様、素晴らしいIMをありがとうございました。たいへんお疲れ様でした。

